

視察報告 岐阜市のコミュニティバス



日本共産党市議団は7月4日、岐阜市のコミュニティバスを視察しました。岐阜市の人口は柏市とほぼ同じ41万人。路線バスとともに、19ルートで走るコミュニティバスが買い物、通院など住民の日常の暮らしに重要な役割を果たしています。残る3ルートも準備中です。中学校区ごとに住民でつくる運営協議会があり、行政、事業者（タクシー会社）と力を合わせて運行しています。バスの名前・ルート・ダイヤ・料金は住民が決めています。

名前もルートもダイヤも料金も、住民が決めます



バス停も住民が組み立てました

「みどりっこバス」に乗ってみました。ショッピングセンターを起点に地域を一周。料金は大人100円、小学生50円、未就学児無料。住宅地、病院や診療所、コンビニ、集会所など停留所が細かく設けられていて、狭い道を右に左に走ります。障害者や認知症の方にはボランティアで見守りが行われています。「この地域は高齢者が多いので本当に助かっています」と乗客の女性が話していました。

中学校区ごと19ルート。利用目的は「買い物、」が病院

このバスは福祉的な役割も果たしているんだと感じました。

岐阜市交通政策課12人の職員のうち6人がコミバス担当です。コミバスへの補助金は全体で2億円弱。人口が少なく収益率の低い地域ほど手厚く支援します。住民も利用率を高め、積極的に広告を集めるなどして赤字を埋める努力をしています。そうした努力で当初200円だった料金を100円に値下げしたバスもあります。

学ぶことの多い視察でした。柏市でも住民参加で住民に喜ばれるコミバスの実現を、と決意を新たにしました。



7月5日、「柏に100円コミュニティバスを走らせる会」が発足しました。発足総会では「免許を返納してからは出かけるのがかなり困っています」「100円バス」と聞いただけでうれしくなりました。「町会ぐるみで市に要望したが実現していない。市立病院に行けるバスをぜひ走らせたい」など、活発な意見が交わされました。会では、市内各地域の具体的な要求を集め、市民といっしょに「100円バス」を走らせるために奮闘しようという決意をしました。

地域要求持ち寄り「会」が発足 柏にも100円バスを走らせよう

「みどりっこバス」に乗ってみました。ショッピングセンターを起点に地域を一周。料金は大人100円、小学生50円、未就学児無料。住宅地、病院や診療所、コンビニ、集会所など停留所が細かく設けられていて、狭い道を右に左に走ります。障害者や認知症の方にはボランティアで見守りが行われています。「この地域は高齢者が多いので本当に助かっています」と乗客の女性が話していました。

「国保値上げ抑えて」の請願

自民・公明などが不採択

「国民健康保険料の値上げを抑え、一般会計からの繰り入れの継続を」という請願(A)が、柏清風(自民系)・公明・柏愛(民進系)などの反対で否決されました。高すぎる保険料にあえぐ市民の願いに応えることのできない議会でのいいのでしょうか。「重度心身障害者の医療費窓口完全無料化を」との請願(B)も、柏清風・公明などの反対で17対18の僅差で不採択となりました。

| | 清風 | 公明 | 共産 | 柏愛 | 市民 | 護憲 | 無・上橋 | 無・内田 | 無・高松 | 無・北村 |
|---|----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|
| A | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| B | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

客引き禁止条例、6月から施行

柏駅周辺での客引きなどを規制する条例が全会一致で可決されました。酒類をともなう飲食店等・カラオケ店・接待飲食店・性風俗店の客引き行為、接待飲食店・性風俗店に従事するように勧誘する行為、これらの客待ち行為と勧誘待ち行為が規制の対象となります。議会での質問を通じて「市民活動等は本条例の規制の対象とはならない」ことが繰り返し確認されました。6月23日から施行されています。

ひとり親家庭の親の資格取得に貸付金

柏市は今年3月、「子どもの貧困対策推進計画」を策定しました。千葉県初ですが、それにふさわしい実効性ある取り組みが求められています。6月議会では、ひとり親家庭の親の就職を支援するため看護師、准看護師、保育士、介護福祉士の資格取得に際し、柏市独自の貸付(月額5万円以内、最大36ヵ月)を創設するための条例が提案され全会一致可決されました。市内に居住し、資格を取得した業務に5年以上従事した場合は返済が免除されます。

問い合わせは柏市子ども福祉課 ☎04-7167-1595。

税金は市民の暮らしを守るために使って

社会保障推進柏市協議会が直接請願行動



334名分の請願書が柏社保協の新山会長から鬼沢副市長に手渡されました

「国保・介護の負担が大きいのには、サービスは減らされる」「年金は減る一方で、暮らしていけない」「保育園の待機児童を实质ゼロに

暮らしの何でも相談

- 事務所 71938175 **やざわ 英雄**
- 事務所 71706112 **武藤 みつえ**
- 事務所 71459672 **ひらの 光一**
- 事務所 71646870 **くさかみや子**
- 事務所 71785155 **わたべ 和子**

サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・ホームレス支援・生活保護・地域の要求。お気軽に何でもどうぞ!

してほしい」——6月26日、市民が安心して暮らせる社会保障の充実を求めて、柏市長に對する市民による直接請願が行われました。334名分の請願書は、対応した副市長に手渡されました。柏駅西口の大開発につき込む予定の200億円は、市民の暮らしを守るために使ってほしい、との訴えがありました。